

御殿場市キャラバン・メイトの会の活動について

1、御殿場市キャラバン・メイトの会の成り立ち

平成17年に厚生労働省では「認知症を知り地域をつくる10ヶ年」キャンペーンを開始する中で、「認知症サポーター100万人キャラバン」(認知症サポーターキャラバン)事業を開始しました。認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を全国で100万人を目標に養成し、日本全国で「認知症になっても安心して暮らせるまち」を市民の手により作っていくことを目指して各市町村で活動しています。

当市では、平成18年に当市初のキャラバン・メイトが誕生し、活動を開始しました。市からの補助金を受けて、認知症サポーター養成講座の開催の他、様々な活動等を行っています。

2、キャラバン・メイトの活動

①認知症サポーター養成講座の講師およびスタッフとしての活動

地域・企業・学校等からのお申込みに応じて、開催しています。

②キャラバン・メイトの会懇談会の参加

定期開催しており、情報交換の他、学習会や認知症サポーター養成講座の内容検討等幅広く協議を行います。

③オレンジカフェみくりやの運営

市役所東館4階みくりやキッチンにおいて、毎月第4木曜日の午後で開催しているオレンジカフェを運営しています。各地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員と協働しています。認知症の方やそのご家族以外にも、地域の方等が自由に参加できる情報交換や憩いの場、専門職への相談の場として展開しています。

④ふれあい広場や認知症啓発のための展示を始めとする普及啓発活動

例年9月23日には、御殿場市社会福祉協議会が開催するふれあい広場があり、当会も認知症に関する普及啓発及び活動紹介のためにブース出展しています。その他、9月の世界アルツハイマー月間では、市・認知症地域支援推進員が主体となって認知症の普及啓発や関係事業紹介等の展示を行っており、キャラバン・メイトも協働しています。



3、認知症サポーターとは

「認知症サポーター」とは、認知症サポーター養成講座を受講したボランティアのことです。認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動していただいています。

当市では、現在12,000人を超える認知症サポーターがおりますが、その活躍の場の提供を検討しているところです。

近年では、認知症カフェの運営支援へのご協力をお願いしましたが、今後は認知症啓発のための展示や展開予定のチームオレンジへのご協力をお願いする等、日頃の見守り・支援の他にも、それぞれのできることに、やりたいこととのマッチングも検討していきます。

認知症の方やそのご家族が地域で安心して過ごせるよう、地域のあらゆる場所で認知症サポーターが見守り、支援しています。地域住民、商店等の小売店、学校や公官庁等が協働して「応援団」となり、それぞれが暮らしやすいまちづくりを目指しています。



御殿場市キャラバン・メイトの会事務局

御殿場市役所長寿福祉課 長寿福祉スタッフ

電話：0550-83-1463 FAX：0550-84-1046

E mail：kaigo@city.gotemba.lg.jp